



これからの学校行事を考える

全国の教職員はそれぞれ様々な研究に取り組み、場合によっては研究団体に所属しています。私は「大阪市小学校教育研究会学校行事部」に所属しています。「学校行事」について仲間とともに研究実践に関わっています。その学校行事研究について先日7月30日に全国大会大阪市大会が行われました。全国の研究実践の交流が行われ、改めて学校行事の重要性を感じられたところです。

コロナ禍では、感染リスクを考慮して教師主導の学校行事になりがちでした。そこから子ども主体に戻したり、改めて学校行事の意味を問い直したりして今に至っています。コロナ前では学校行事は見栄え出来栄や、いかに盛り上がったかに目標を設定していたことが多かったように思います。しかし今大事なのは、そういうことではなく、子どもたちが自分たちで課題を見つけ解決していく学校を創る教育活動としての学校行事です。

先日の7月21日～22日に、5年生は貝塚市にある府立少年自然の家に林間学習に行ってきました。この学校行事では、2日間共同生活をしながら様々な活動をしていくという大きな行事です。プログラムごとに係の役割にあたる子どもたちがいます。できるだけ教員は手を出さず、子どもたちで進めていくようにしました。その中では失敗もします。場合によっては注意も受けます。それでもたった2日間でも個の成長、集団の成長が見られました。普段はかかわりの少ない友達とも励まし合いながら山登りをしたり、ちょっとしたことに對しても「ありがとう」がさらりと言えたりしていました。教員たちは計画から当日の臨機応変な対応にもフラフラになりながらも、これらの成長に立ち会えた喜びをかみしめます。

学校では様々な教育活動がありますが、学校行事でも子どもたちの主体性や協働性をはぐくんでいきたいと思っています。



読解力の重要性

数学者の新井紀子さんの著書「シン読解力 学力と人生を決めるもうひとつの読み方」（2025東洋経済新聞社）で紹介されている、リーディングスキルテストというものがあります。そのうちの1問を次に示しますので、ぜひやってみてください。

問：「アミラーゼという酵素はグルコースがつながってできたデンプンを分解するが、同じグルコースからできていても、形が違うセルロースは分解できない。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

セルロースは（ ）と形が違う。

- ①デンプン ②アミラーゼ ③グルコース ④酵素

いかがでしょう。私は難しいと思い時間をかけて考えました。答えは①デンプンです。この問題の中学生の正答率は約38%だそうです。文章を読めていると思っていても、意外と正確に理解できていないことが多いのです。自分勝手な読み方で「誤解」をすることは、人との関係性にも影響します。特にSNS上で問題になっています。正しく読んで理解をすれば問題ないのに、すぐに「許せない」という声で炎上しています。学校ではよりよい人間関係を作るうえでも、読解力を大切にしていきたいと思っています。そのためには読書は重要です。この夏休みに子どもたちはたくさん本を読んでいるのでしょうか。みんな、いっぱい本を読んでね！

大阪出身の作家東野圭吾さんの訃報に涙。